

マリオネット 第一卷 正誤表

頁段行 誤	第一 號	正
六註の三	Text's	Extens
三上七	桐竹紋十郎)	桐竹紋十郎(娘小浪)
四下八	云ひ終る	云ひ終る
同同三	結納	結納
同同七	今の手	今の手
同同六	腰元つれが	腰元つれず
五上六	薩埵峠 <small>さつたん</small>	薩埵峠 <small>さつたん</small>
同同五	門火だと	門火ぞと
同同七	娘ば	娘は
同下八	先たに	先きに
同同六	あとずさり	あとずさり
同同三	一轉する	一轉する
同同三	いたくと	いそくと
三上七	親知らず	一親知らず
同同三	戀るまいその	戀るまいぞの
同同三	立てゝおいた村	立てゝおいた杖
同下五	染飯 <small>いひ</small>	染飯 <small>いひ</small>
同同三	左を向き	左を向き
同同七	左袖に	左右に
同上二	「ひ	「そ
同同元	うすわけ	らすわけ
同下八	陀羅尼だらう	陀羅尼だらう
同同五	「ひきはせ」	「ひきはせ」
同同元	ヲドリ挿入	ヲドリ地挿入
同同三	か湯	湯
同同同	あれかよと	あれかよと
同上一	上手向きて	向きで
同下三	に拆つき	拆につき
同上一	つ代られ	て代られ
同下三	力を借りが	力を借りるが
同同六	縦斷面す	縦斷面で示す
同同同	Aで示は	Aは

同	同	座である
三	四	なければいけない
三	下	元 撰撰
三	上	二〇 明みて
同	下	九 マレングインスキー
		マレングインスキー

第二 號

頁	行	誤	正
三	七	完全に	完全く
三	九	國際的に	國際的
同	三	藝術史	藝術家
三	六	絨緞	絨緞
同	二	童話的世界に	童話的世界へ
三	八	演技領域	演技の領域
三	三	人形劇研究	人形劇研究者
註	(一)	Corio	Carlo
三	一	たんびら	だんびら
三	一	道遙博士	道遙博士
三	一	初代團平	清水町の團平
同	五	と、言つてゐる	との意味を言つて

第三 號

同	三	創造	作曲
三	七	近松の研究者	近松研究者
三	下	五 つた所で	勝つた所で

頁	行	誤	正
三	八	活人形	活人
三		赤淵種族	未開種族
三		舞がかり	舞がかり
三		自覺せずして	自覺せずして
三		サワリに乗る	クドキに乗る
三	二	民間的な	民衆的な
同	二	「文樂座の人形淨りの下に」	を
同	同	講ずると、	講ずると
三	九	能樂の保存に	保存と
三	九	當時の新作の例に	新作の例を
三	一	幕内の諸子の	諸子は
三	一	權利を與へて	權能を與へて
三	一	こんな一例	こんな例
三	一	身代りに所變する	變へる

犬	同	二	身代りに所變する	變へる
---	---	---	----------	-----

六	九	古典の復活	古曲の復活
八	一	淨るりの節	淨るりの節
同	九	古典の復活……古典の復活	古曲の復活 古曲
同	三	古典の復活	古曲
三	二	祈ふ	訴ふ
同	同	保存の	保存を
同	同	同	保存を
同	同	同	保存を
三	二	項末	項末
同	三	項末	項末
九	九	最終の行	かつこう
六	三	かつてう	かつこう
同	六	その紡錘	その時紡錘
同	三	その網を	その網を
三	二	まとめに	まとめに

第 四 號

所藏者備考餘白欄

不兵事（づらるに領度）額を費金は詩の刊度途中。ずせ刊盛に体絶は外以理天

★ 特殊演劇研究美術雜誌 ★

MARIONETTE

第二期豫約募集。何故！頁を増加するか？

編輯刊行者の新聲明………南 江 二 郎

戯曲は人形に據つて演ぜられ、成巧するほどのものでなければ駄目だ（ゲエテ）。さうだ！最も靈的な神性生物なる吾人の心象的人形は詩のない文學を拒否する。單なる個人劇の研究、人形座の設立が宿願ではない。要はこの靈的な神性生物を吾人の詩の創造のうちに生かしきる事だ。このポエジーの近代的擴張は他のあらゆる詩の姉妹藝術を、自ら融合統一せしめるであらう。故に本誌はその重要な研究目録として、あらゆる古典演劇藝術と近代劇を検討するは勿論、一九三〇年以後の最も新鋭特殊なる、舞踊、假面劇、詩劇、色彩音楽、舞臺美術前衛映畫、等の研究を附加しなければならない。然るに不幸第一期には内容頁僅少の爲に之を充分になし得なかつた。來る第二期に於ける増頁の理由はこれに盡きる。

裝幀内容 四六倍版。表紙黄金版。每號六十頁以上。挿畫拾枚以上。

刊行期日 一月、四月、七月、十月の四回。會員以外は配布なさず。

豫約規定 第二期本誌全額價四圓五拾錢を（送料共）必ず前納の事。但し

第一回貳圓五拾錢、第二回貳圓の二分前納も可。雜誌番號は申込順也

豫約期日 昭和六年一月十五日迄（毎號實價定額五拾錢以上。故に書店へも割引せず本誌希望の書店は會員として申込れたし）

古典への反省と現在。未來への創造的研究

京電 都話 府龜 岡九 町番 會協劇演土郷 振一 替八 口一 座九 大九 阪番

したれ込拂へ番二九一八一版大て以を紙用替振くべるなは費會約豫

世界各種稀觀原始假面寫真舞踊圖凸版二拾數葉挿入

佐藤一英氏の紹介的批評の一節。

南江一郎氏の(原始民俗假面考)が出版された。南江氏は既に(南枝の花)の著によつて、詩人として、家をなしてゐる人であり、また(人形劇の研究)の著によつて専門の演出家らの感謝と賞讃を得た程の特殊な研究者である。(中略)

本書は第一章において原始民俗の假面を概論して、原始民俗の假面とは何かと、研究の對象をまづ明確に規定してゐる。即ち民俗學の概念を述べるに當つてはイギリス民俗學協會公刊のバーン女史編の民俗學概論に依據し、原始民族假面が未開民族の間に生じた民間傳承の發生進化に伴つて、その心理表現の一具象物として、自ら作られた最も原始的な假面のことであると定義してゐる。次ぎには原始民俗假面の發生の第の動機、原因ともなつたものは、その信仰であり、宗教的儀式であるといふ心理的探究を展開し、民間傳承として現れた信仰を細かに叙述してゐる。しかしてマレット博士の有生觀、タイラア郷の有靈觀を論究し、ジャッド教授の生命連續觀、フレイザー博士の禁忌制度觀、さらにフロイドの新説を論究して、南江氏は原始民族の全宇宙觀は、萬有精神論的(神話的)宇宙觀と初期的宇宙觀を含有してゐるものであつて、この宇宙觀より生じた信仰が、原始的民俗の民間傳承の信仰の總てであると論斷してゐる。

第三項に入つては、その信仰が儀式化される原因道程を述べ、假面がその儀式に如何にして必要なるかを考究し、假面の始源及び使用の意義を論述してゐる。こゝではトムソン教授、アーニスト・クロレイ氏、リヌウバ教、フレイザー教授、ハートランド、フレネス、マックゴウワン等の研究を、々検討して餘すところがない。

このやうに斯界の權威者の説を廣い範圍にわたつて攻究した上に、家の見を立てて、概論し、第一章(各種原始民族假面考)に至つては十一の項目に分ち、狩獵假面、トーテム假面、妖魔假面、魔術假面、追悼假面、頭蓋假面、靈的假面、戰爭假面、入會假面、雨乞假面、謝肉祭假面、その他の假面を細密に考察し、その心理的動因を列明しつゝ、儀式、假面の意義、様相、表現方法、風俗等にまで説き及ぼされてゐる。「以下略」

民俗藝術叢書・紙裝美本・定價壹圓五拾錢送料六錢



原始假面考
南江二郎著



東京市神田區 南保一丁目四區 地 平 社 書 房 電話九段二〇六二 振替東京六六一九四

す戻拂（ずらあに額送）額全費會は館の刊廢途中・すせ刊廢に体絶は外以災天

★ 特殊演劇研究美術雜誌 ★

MARIONETTE

別冊特輯號豫約募集 ● 定價貳圓五拾錢 (書料共)

★ 人形芝居の故郷 (全譯) …… ビツシエル教授

ヘール・ウキッテンベルグ大學の學長ビツシエル教授の「人形芝居の故郷」は、印度を世界の人形芝居發源地と推定し、これを立證せしめん爲、印度古代宗教、演劇、文學風俗の書は勿論西歐諸國のものに至るまで引用、考證したるものにして世界唯一の最も特種なる研究書である。

★ 印度の人形芝居 (全譯) …… リツヂウエイ教授

ケンブリッヂ大學の考古學教授にして希臘演劇研究の權威なる同教授が右記ビツシエルの考證を検討して餘すところなきものでこの兩書を併讀して吾人が教示されるところは實に無限大である。

◇ 九月十五日配本・豫約者は當日迄に會費前納の事

譯者江都府龜岡町番九
署名會費は號番し但
號拂は順とす附

既刊號執筆者

坪内逍遙	高野辰之	薄田淳介	野口米二郎	土田杏村
相馬御風	秋田雨雀	石割松太郎	島村民藏	山田耕作
仲木貞一	長田秀雄	小寺融吉	遠山靜雄	佐藤一英
馬場孤蝶	阿部次郎	安倍能成	小出檜重	竹久夢二

編輯行責任者 江 南 二 郎

體裁 四六倍版。本文用紙、特製手漉耳附局紙入形圖紋章すかし彫入。挿畫數葉。二四頁以上
第一期刊行 昭和五年二月・五月・七月・十月の四回。會員以外には絶体に配布せず
普通會員 本誌の講讀會員にして、右希望者は第一期本誌全額價參圓五拾錢を全額前納の事

初版・再版・賣切！ ● 第三次會員募集中

京電 都府龜岡町番九
電話 九番
郷土演劇協會 振替 八〇一
座九 大阪 二番

印度偶人劇考

特殊演劇叢書第一編 ● 定價貳圓五拾錢 (書留送料共)

● 人形芝居の故郷 (全譯) …… ヒツシエル教授

舊伯林大學文學部長ピツシエル氏の『人形芝居の故郷』は、印度を世界の人形芝居發源地と推定し、これを立證せしめん爲に、印度古代宗教、演劇、文學風俗の書は勿論、西歐諸國のものに至るまで、最も權威なる著作研究約百種を引用、考證したるものにして、其參照書目註だけでも世界的文献である。

● 印度の人形芝居 (全譯) …… リツチウエー教授

ケンブリッヂ大學考古學教授にして希臘演劇研究の權威なる同教授が、右記ピツシエルの考證を檢討して餘すところなきものにして、この兩書を併讀して、吾人が教示されるところは實に無限大である。誠にこの兩書を一讀せずして、世界の偶人劇史を語る事は許されないと斷言しても敢て過言ではないであらう。

装幀體裁——四六版。特製最上洋紙。內容約百頁。稀觀插畫數葉挿入

配本期日——昭和六年二月五日。豫約者は當日迄に會費全額前納事

編纂翻譯——南江二郎。本書は申込初版限定版とし、絶体に増版せず

翻譯者署名す ● 但し番號は會費拂込順とす

京電 都話 府龜 岡九 町番 鄉士演劇協會 振一 替八 口一 座九 大二 阪番

